

星野学園小学校新聞

星野学園小学校
 埼玉県川越市上寺山 216-1
 〒350-0826 TEL.049(227)5588
 星野学園小学校 Web
www.hoshinogakuen.ed.jp/hes/

七月を振り返って

一学期最後のひと月になると、子どもたちは勉強面や生活面のまとめを意識し始める。そして、七月は星小の特徴でもある行事も盛り沢山で、楽しい学校生活を彩る。今号では、そんな七月の様子を振り返る。



夏の学校、芸術鑑賞会、水泳、七夕……たくさんの行事がありましたね。

水泳 大会 教室

七月一日(金)から七月十二日(火)にかけて、一年生から四年生までの水泳大会が行われた。一学期の授業で練習した泳法だけでなく、宝探しやピート板等の道具を使った楽しい競技も行われ、クラス全体で意欲的に取り組めた。クラスで六チームに分かれ、競技ごとに

七月一日(金)から七月十二日(火)にかけて、一年生から四年生までの水泳大会が行われた。一学期の授業で練習した泳法だけでなく、宝探しやピート板等の道具を使った楽しい競技も行われ、クラス全体で意欲的に取り組めた。クラスで六チームに分かれ、競技ごとに



表彰状をもらってご満悦。

また、七月二十一日(木)から七月二十九日(金)にかけて、一年生から六年生までの水泳教室が夏休み期間中に行われた。通常の水泳の授業とは違い、水泳教室では、来年度に向けて新しい泳法を習ったり、水が更に深くなる等、挑戦する姿が多く見られた。一方で、自由

遊ぶ子どもたちのたぐさの笑顔や心から楽しむ姿も見れ、充実した水泳教室二日間を過ごした。(斎藤)

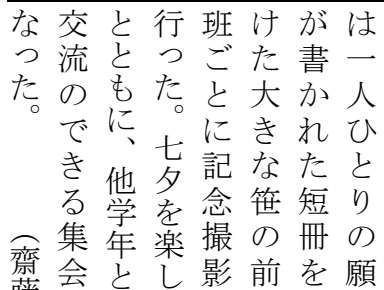


6人力を合わせてバタバタ練習。



「どれにしようかな。」 作戦タイム中。

七月二日(土)、集会委員会の進行による七夕集會が行われた。本年度も星野ドームでの実施となった。日頃あまり交流をすることが少ない他学年との交流を深めるための企画だ。そのた



宿泊場所を綺麗にしています！

(斎藤)

夏の学校

のべ二十二泊。本校における小学校六年間の宿泊行事での合計宿泊数である。七月六日(水)・七日(木)の両日、本校舎内にて、二十二泊の最初の一泊目にあたる宿泊行事「夏の学校」が行われた。実際に親元を離れて生活をするこ



こどもの城にて。みんなで星空を鑑賞しました！

組は「せんせいのはなしをよくきいてこようどうはすばやく」である。事後学習として振り返りをした際、スとおおむね両クラスともよくできている。二日目も朝の散歩や音楽部やE.S.S.体操と、友達と協力し部の高校生や先で素早く行うことが生方との交流できていた。そして準備は、話を聴く時は同様、宿泊部屋としてしっかりと聴く使用した体育館一階のことができた。ま整頓・掃除も自分たちセンター「こども」の。まさに、自立への

七夕集會

決めた。A組は「いの城」では、プラネタリウムで夏の星座の物語を楽しみつつ、素も達の中で確かな「自信」へと変わったこと縦割り班が編成された。班ごとに輪を作った。全員で「七夕さま」を歌ったり、七夕に関する歴史や知識を問うO×ゲームが行われ大いに盛り上がった。O×ゲームでは三択の中から、全員で話し合い、班で一つの答えを出した。中には、なかなか答えを決められず時間のかかる班もあったが、うまく上級生が下級生の意見を聞きながら答えを一つに決めていた交流のできる集會と

星野学園小学校 Web
 本校のウェブページでは、星野っ子の日常や、楽しい行事の様子をアップしております。本紙と併せてご覧ください。



更新中！

チャリティコンサート

七月三十日(土)、平成二十八年度災害援助チャリティコンサートが星野学園記念講堂ハーモニーホールで開催された。

昨日は日差しの強い暑さ厳しい中だったが、たくさんの方々に足を運びいただいた。

この日は、星野学園小学校の子ども達の



ステージ、小学生ステージも行われ、およそ三時間にも及ぶコンサートとなった。

チャリティコンサートに向け、それぞれの学年で練習を重ねてきた。

七月十三日(水)、青島広志先生とシエター オークストラ



全身で音楽を表現する青島先生。会場中が元気いっぱい!

差がある。その中で調和をはかりながら、一つの曲として高めていこうと、子ども達は日々努力を重ねてきた。

レでは、小中高生が揃ってステージに並び、復興支援ソングでもある「花は咲く」を、

「この指揮棒、あなたにあげる!」と児童に差し出して下さるサプライズも、『さん

温まる終幕となった。この日小学校にて承った募金額は二十七万三千五百円。

声響かせる高学年。

た。一年生代表が緊張してしまおうと、青島先生が「この指揮棒、あなたにあげる!」

修学旅行に向けて

読者の皆様は、星野学園小学校最大の宿泊数(五泊七日)を誇る、「ニュージラ

でも達の期待が高まる内容が目白押しである。もちろん、子ども達から不安の声も聴くことがある。

終業式間近の七月十七日(日)、六月に続いて第二回目の小学校オープンスクールが開催された。

オープンスクール

星野学園小学校では、そのような子ども達の不安を、確かな自信に変えるための緻密に計画された事前学習がある。

そして、参加者と共に楽しい劇を作り上げた。また、算数教室では、六年生が謎解きドラマを演じきり、参加者の注目を集めていた。

不安と期待を抱えて、緊張した面持ちで自己紹介する六年生。国語教室では、絵本の読み聞かせを行って参加者を本の世界へ

の先生はみな、口を揃えて、「英会話に不安を覚えなくても大丈夫です。」と伝えてくれる。勿論、「英語を上手く話したい。」という向上心は大切である。

文化理解に好影響は及ぼさない。グローバルに生きていくためには、英語の上達や異文化交流を心掛けてもらいたい。

自分達の名前を覚えてもらおうと、名前をモチーフにした被り物を作り、アシスタントとして、教室を動き回りながら、参加者の一人ひとりに作品作りのアドバイスをしていた。書き教室では、アシスタントとして、用



6年生のスーパーアシスタントが活躍!

ル化が叫ばれる昨今、英語は人生の到達点ではなく、新たな未来を切り開く方法である。それを踏まえ、星野つ子には、積極的な交流を心掛けてもらいたい。

と、一つとも楽しかった。けれど、動いてばかりで忙しい。こんなに大変だとは思っていなかった。」と、充実感と同時に、お客様へ気を配ることの大変さや難しさを痛感したようであった。

このオープンスクールでのお手伝いを通じて、人のために働くことの清々しさややりがいを感じることの大切さを、改めて考えさせられる。(海野)



勉強になったケーススタディ。